



# いきなり いわた 人

県内初、女性農業委員会会長に就任

## おおはし ちかこ 大箸千賀子さん

1967年生まれ。市内在住。  
趣味は友人と行く低山ウオーク。  
得意料理は海老芋コロッケ

**県**内で初めて、農業委員会会長に女性で就任した大箸千賀子さんにお話を伺いました。

**農業委員会とはどんな活動をしているのですか？**

農業委員会は、農地法に基づいて農地の売買や貸借、農地転用の許可を中心に農地に関する事務を行っている行政委員会です。農業の担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入を考えている方への支援も担っています。

**農業委員になっただきっかけは？**

私はこれまで6年間委員を務めています。就任当時は、各部農会からの推薦が主流でした。私の住んでいる地域の農業委員が決まらずにいたとき、豊岡地区に住んでいた女性の農業委員の方から「女性もできるんですよ。やってみませんか」と言われました。夫からの勧めもあり、農業委員についての知識はほとんどありませんでしたが、挑戦することにしました。

**これまでの農業委員の活動で、大変だったことは？**

農業委員会は男性が多く、初めはとても緊張しました。また、私は結婚して豊岡地区にきたので、農地の所有者である地元の人の顔と名前を覚えるこ

とが大変でした。周囲の方に教えていただきながらの日々で、地域との繋がりが深くないと難しい仕事だと感じました。

**会長に決まったときの気持ちは？**

正直、とても不安でした。会長を引き受けた時よりもそれからの方が「本当に私でいいのか」とプレッシャーをより強く感じました。でも、前会長からの「女性の目線で見るのはとても大事なこと」という言葉に励まされ、「やってみよう」と覚悟を決めました。

**農業をしていて大変なことは？**

天候の変化にとても気を遣うことです。私の家では白ネギや海老芋、タマネギを育てているのですが、昨年ひょうが降り、翌日に収穫予定の白ネギが傷ついてしまったことがありました。その時は頭が真っ白になり呆然としましたが、夫や義父たちと一緒に、傷ついたビニールハウスの修理や野菜をどうするか必死に考えました。自然を相手にする仕事なので、少しも気が抜けません。

**今後の抱負を聞かせてください**

農家の高齢化が進む中、女性目線を取り入れながら新規就農者への支援を積極的に行うなど、磐田市の農業を発展させていきたいと思っています。